

令和5年度
埼玉県内の介護保険サービス施設・事業所
及び老人福祉施設に勤める介護職員への
アンケート調査結果

埼玉県 高齢者福祉課 介護人材担当

アンケート調査の概要

目的

現場の介護職員の生の声を受けとめ、介護人材の確保・定着の施策に役立てる

調査対象

県内の介護保険サービス施設・事業所及び老人福祉施設に勤める介護職員

調査方法

埼玉県電子申請・届出サービスを利用した、インターネット経由のアンケート調査

回答数

761件

調査期間

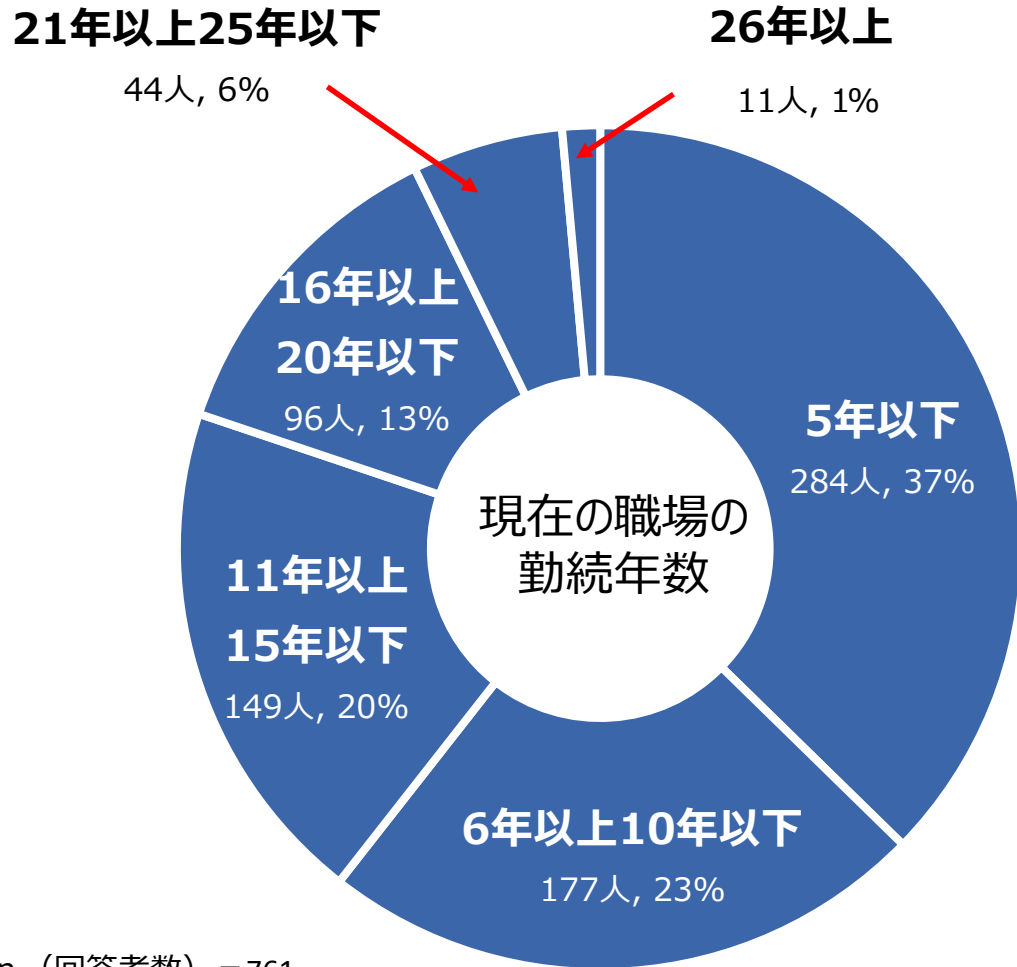
令和6年1月23日（火）～令和6年3月15日（金）

質問項目

- | | | | |
|-----|-----------------|-----|---------------|
| 1 | 現在の職場の勤続年数 | 1 3 | 介護の仕事をはめる前のこと |
| 2 | 介護職としての通算勤続年数 | 1 4 | 介護の仕事をはじめた理由 |
| 3 | 介護の仕事継続の意向 | | (以下、回答者の属性) |
| 4 | 長く続けることのできる職場 | 1 5 | 年齢 |
| 5 | 研修の受講しやすさ | 1 6 | 保有資格 |
| 6 | 職場の人間関係 | 1 7 | 取得希望資格 |
| 7 | 定期的な職員面談 | 1 8 | 勤務先サービス種別 |
| 8 | 介護業務以外の業務に携わる時間 | 1 9 | 勤務形態 |
| 9 | 出産・子育て支援 | 2 0 | 生計関係 |
| 1 0 | 体調面の不具合 | 2 1 | 通勤方法 |
| 1 1 | 夜勤回数 | 2 2 | 通勤時間 |
| 1 2 | 夜勤間隔 | 2 3 | 転職回数 |

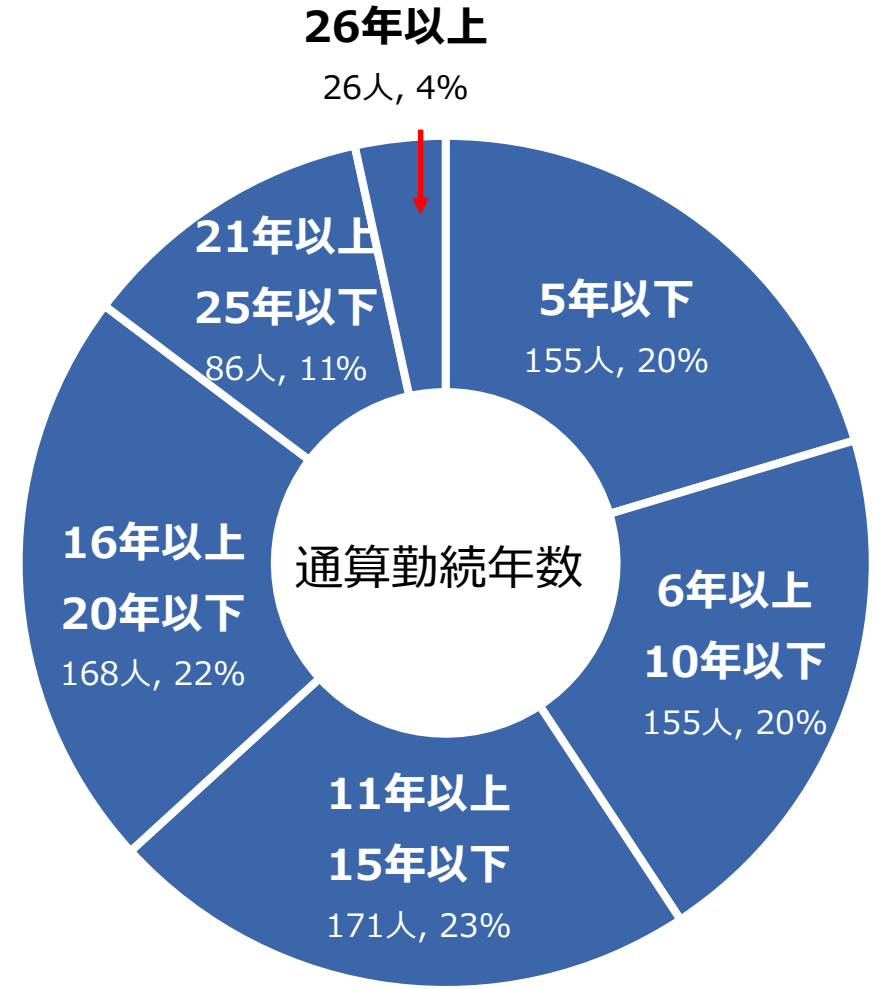
1 現在の職場の勤続年数

現在の職場の勤続年数の平均は9.4年で、「5年以下」が284人（37%）と最も多かった。



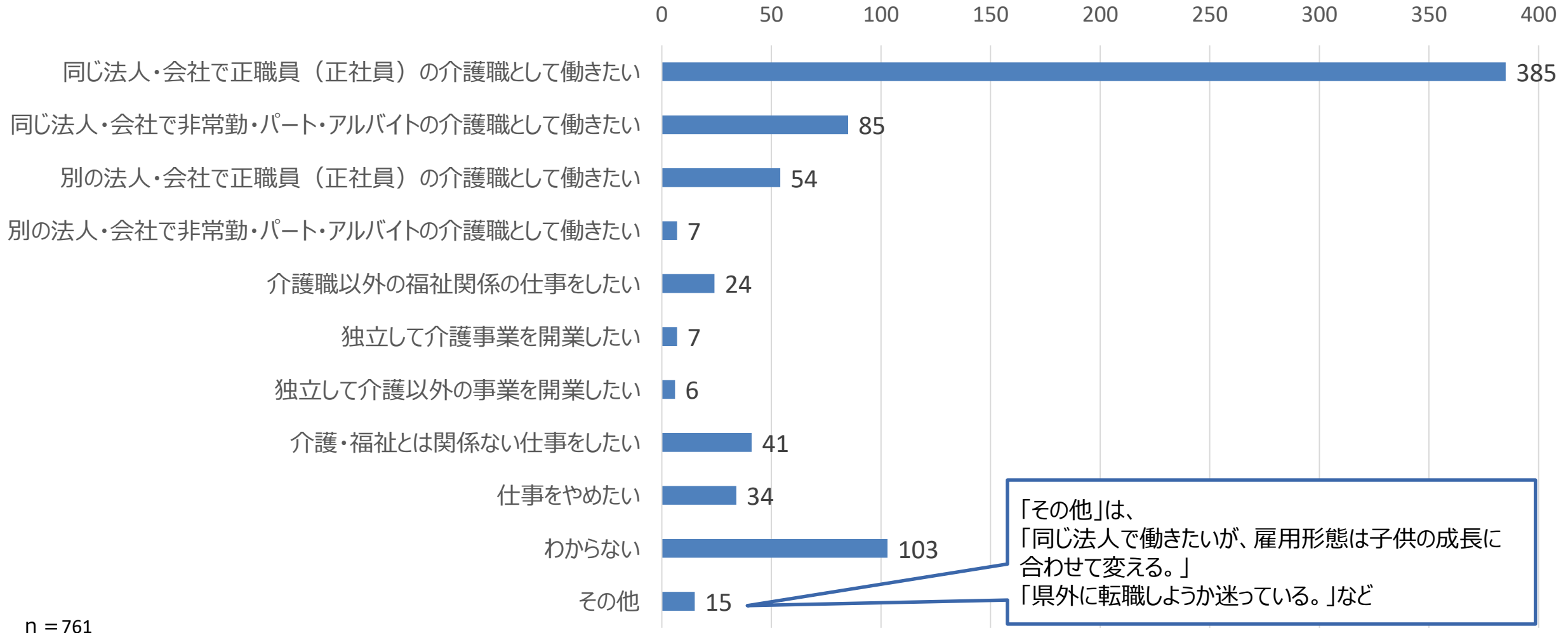
2 通算勤続年数(介護職)

介護職としての通算勤続年数の平均は約12.8年で、「11年以上15年以下」が171人（23%）と最も多かった。



3 介護の仕事継続の意向

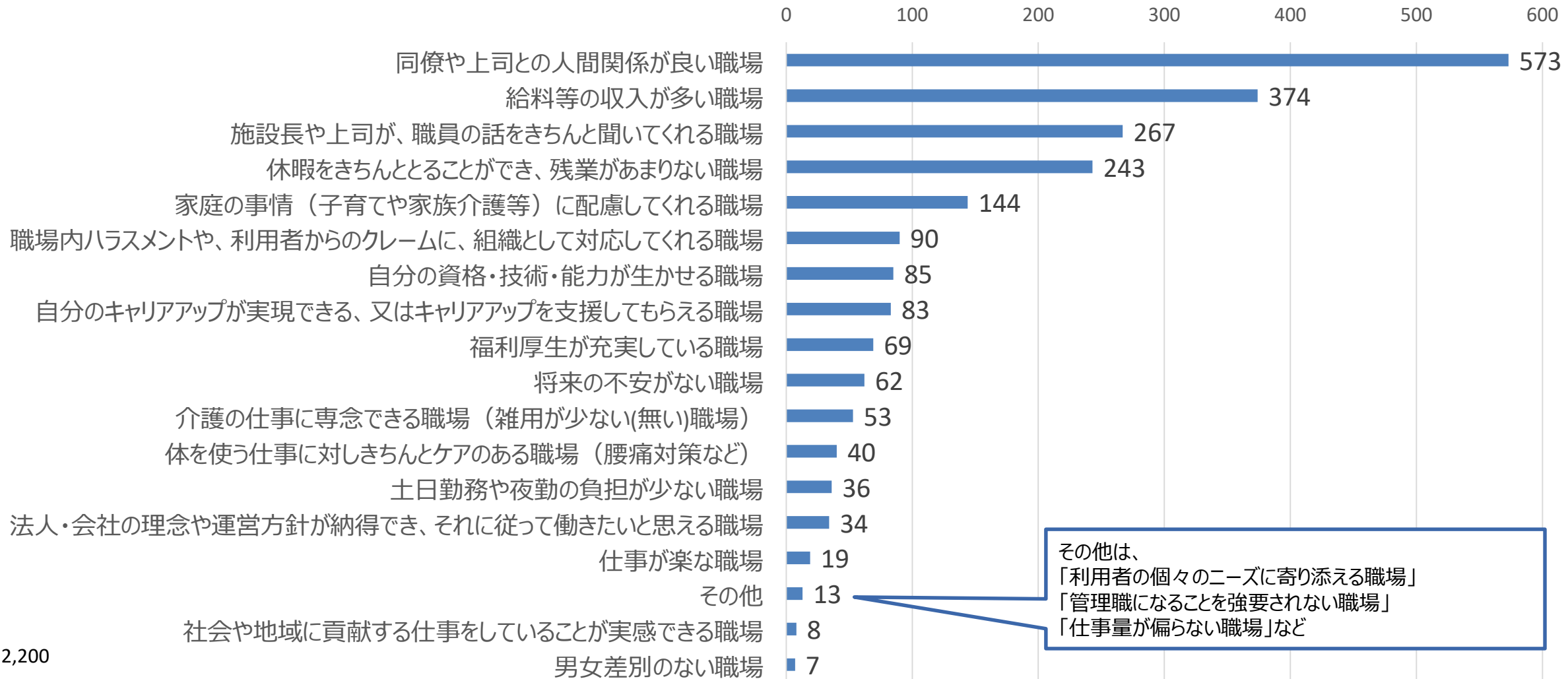
今後も介護職を続けたいかどうか最も当てはまるものを選んでもらったところ、「同じ法人・会社で正職員（正社員）の介護職として働きたい」の回答が385人（51%）と過半数を占めた。



n = 761

4 長く続けることのできる職場（重複回答あり）

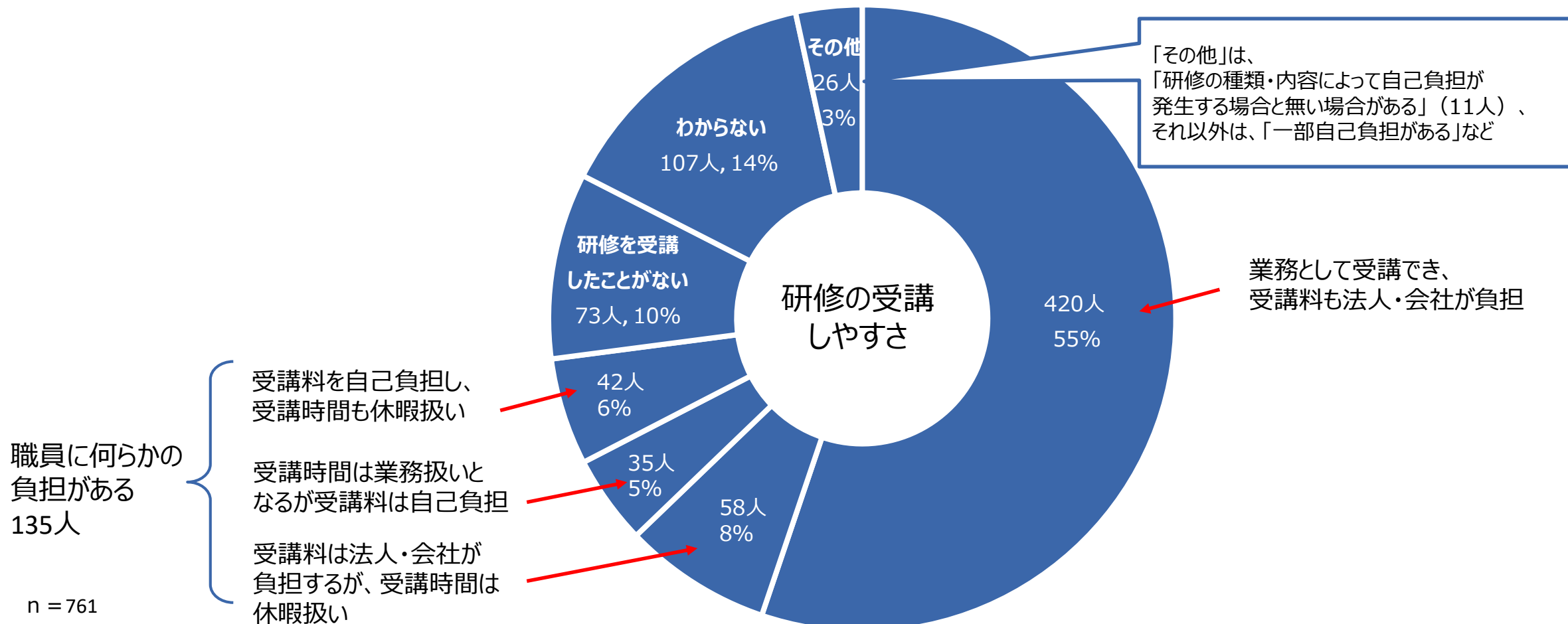
どのような職場であれば長く続けることができるか、最も当てはまるものを最大3つまで選んでもらったところ、「同僚や上司との人間関係が良い職場」が573件（26%）と最も多かった。



n = 2,200

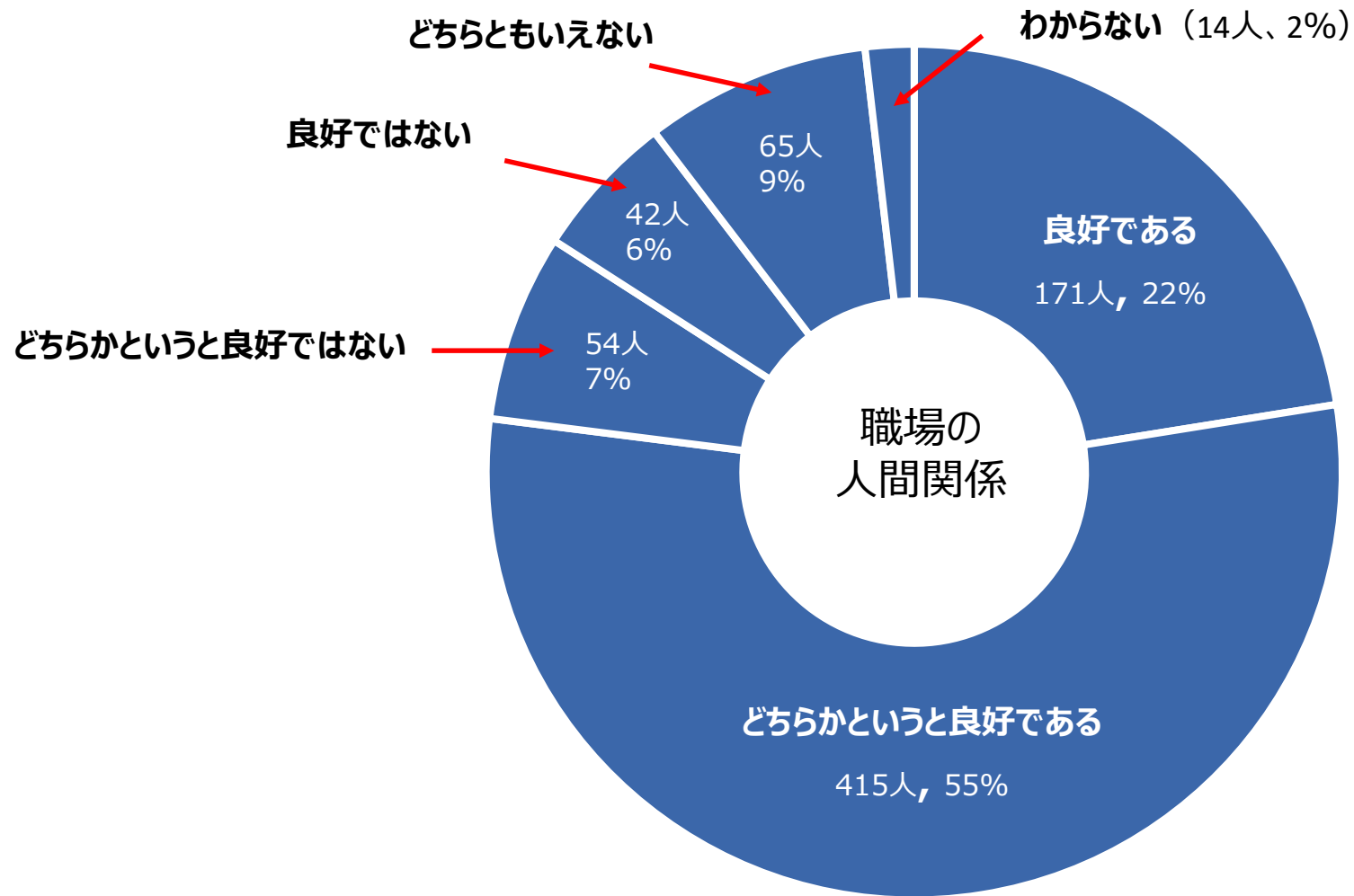
5 研修の受講しやすさ

現在の職場で介護の専門性を高める研修や、キャリアアップにつながる研修を、業務として受講できるか尋ねたところ、「業務として受講でき、受講料も法人・会社が負担する。」が420人（55%）と最も多かった。一方、職員に何らかの負担があるとの回答が135人（18%）だった。（職場の内部研修や勉強会は除く）



6 職場の人間関係

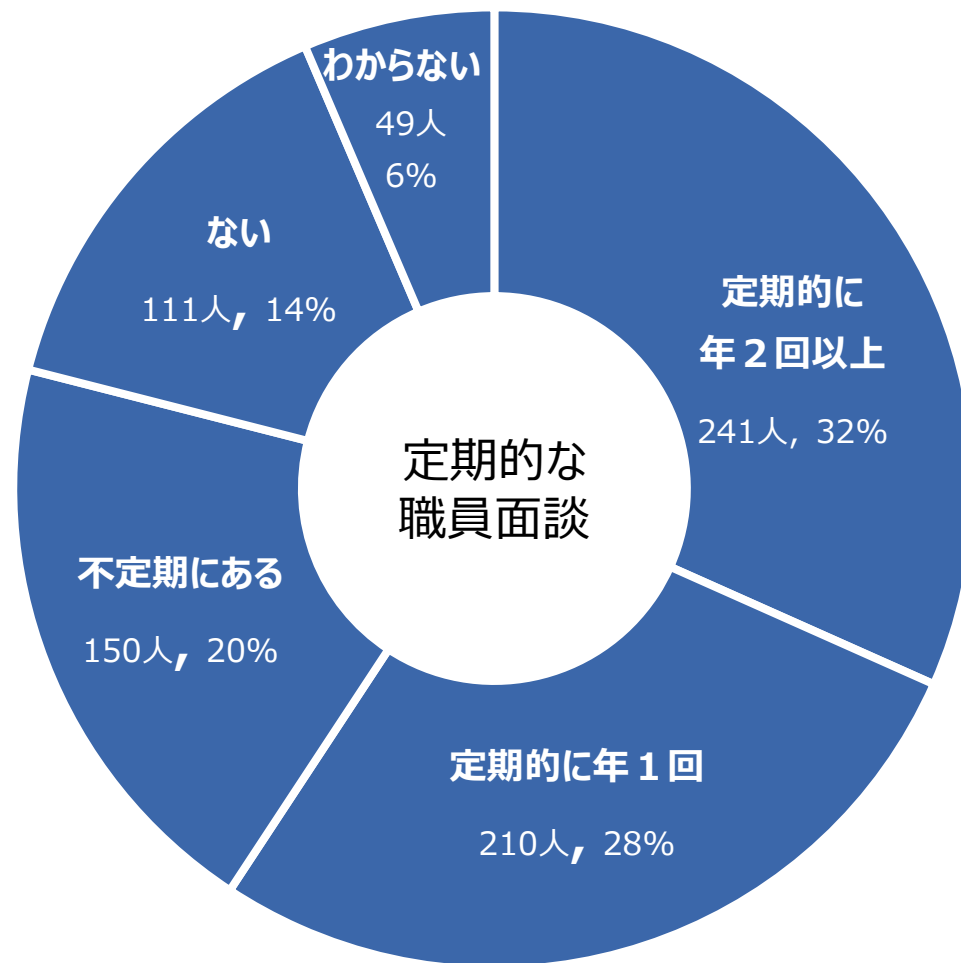
職場の人間関係について尋ねたところ、「良好である」と「どちらかというと良好である」を合わせて586人（77%）、一方、「良好ではない」「どちらかというと良好ではない」は合わせて96人（13%）となった。



n = 761

7 定期的な職員面談

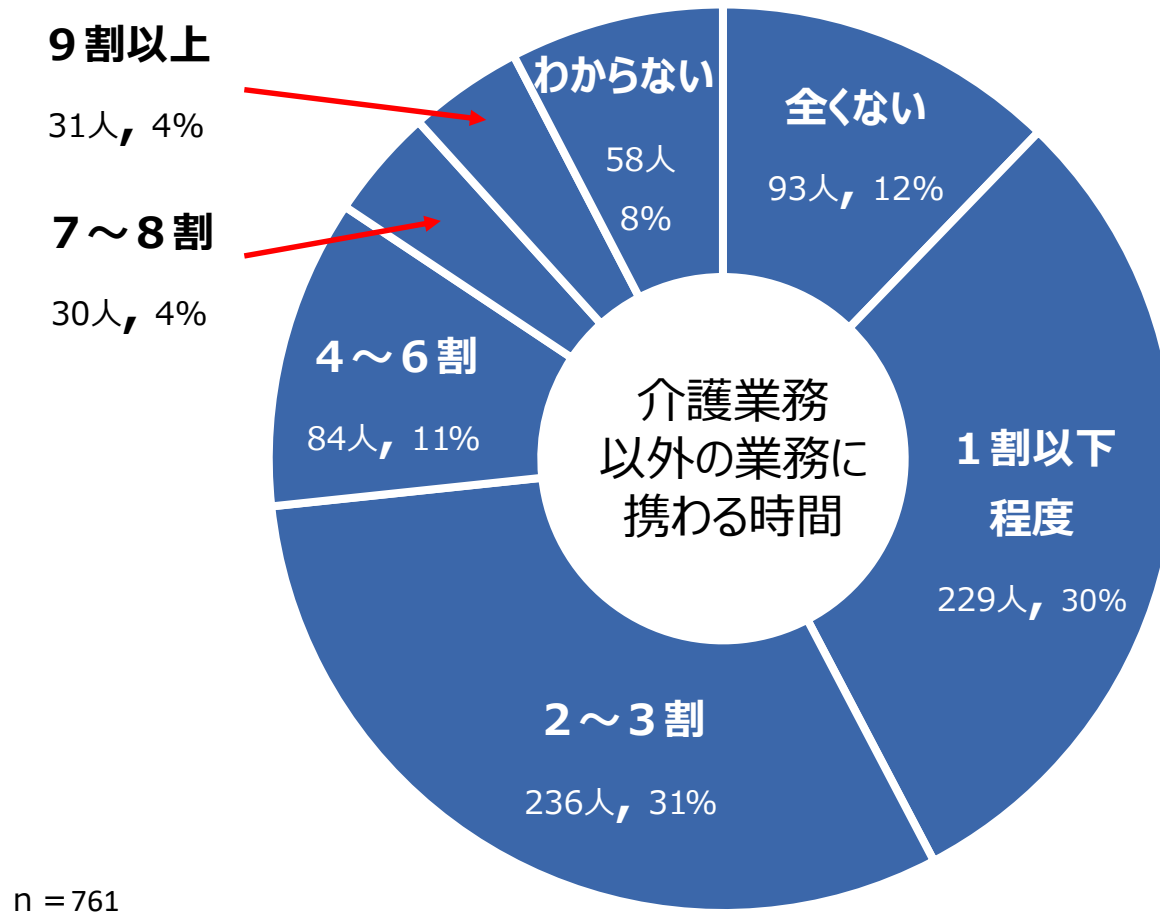
施設長・管理者、副施設長・介護長や法人本部の管理職による定期的な職員面談があるか尋ねたところ、「定期的に年1回以上ある」という回答が合わせて451人（59%）となった。
一方、職員面談が「ない」という回答も111人（15%）あった。



n = 761

8 介護業務以外の業務に携わる時間

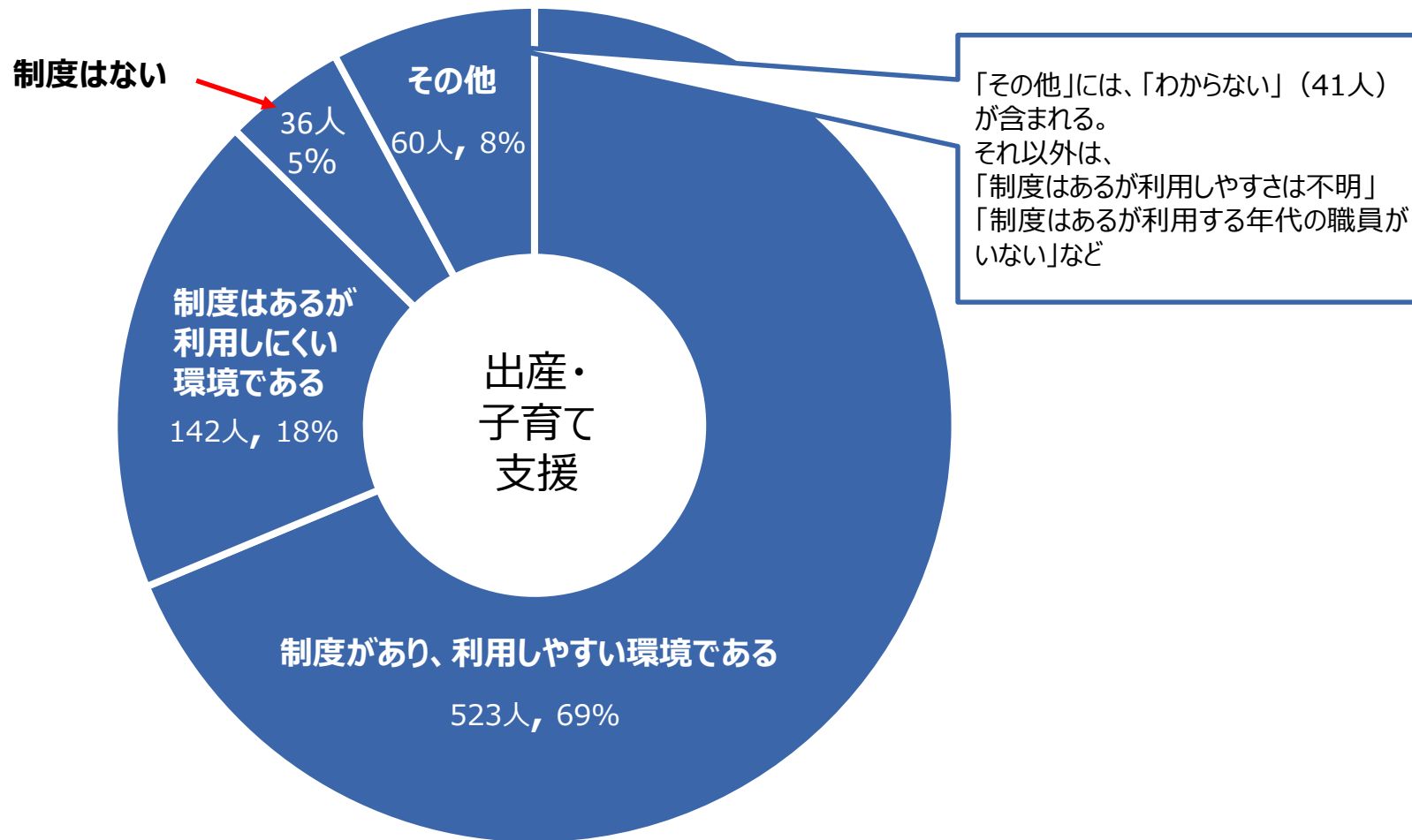
1日の就業時間のうち、介護の直接業務、付随する業務（実施記録作成等）、その他の間接業務（事業所会議等）以外の業務に携わる時間の割合を選択してもらった。3割以下とする回答が558人(73%)と大半を占めた一方、4割以上が145人(19%)と、介護業務以外の業務に多くの時間を割かれているとした回答も一定数見られた。



n = 761

9 出産・子育て支援

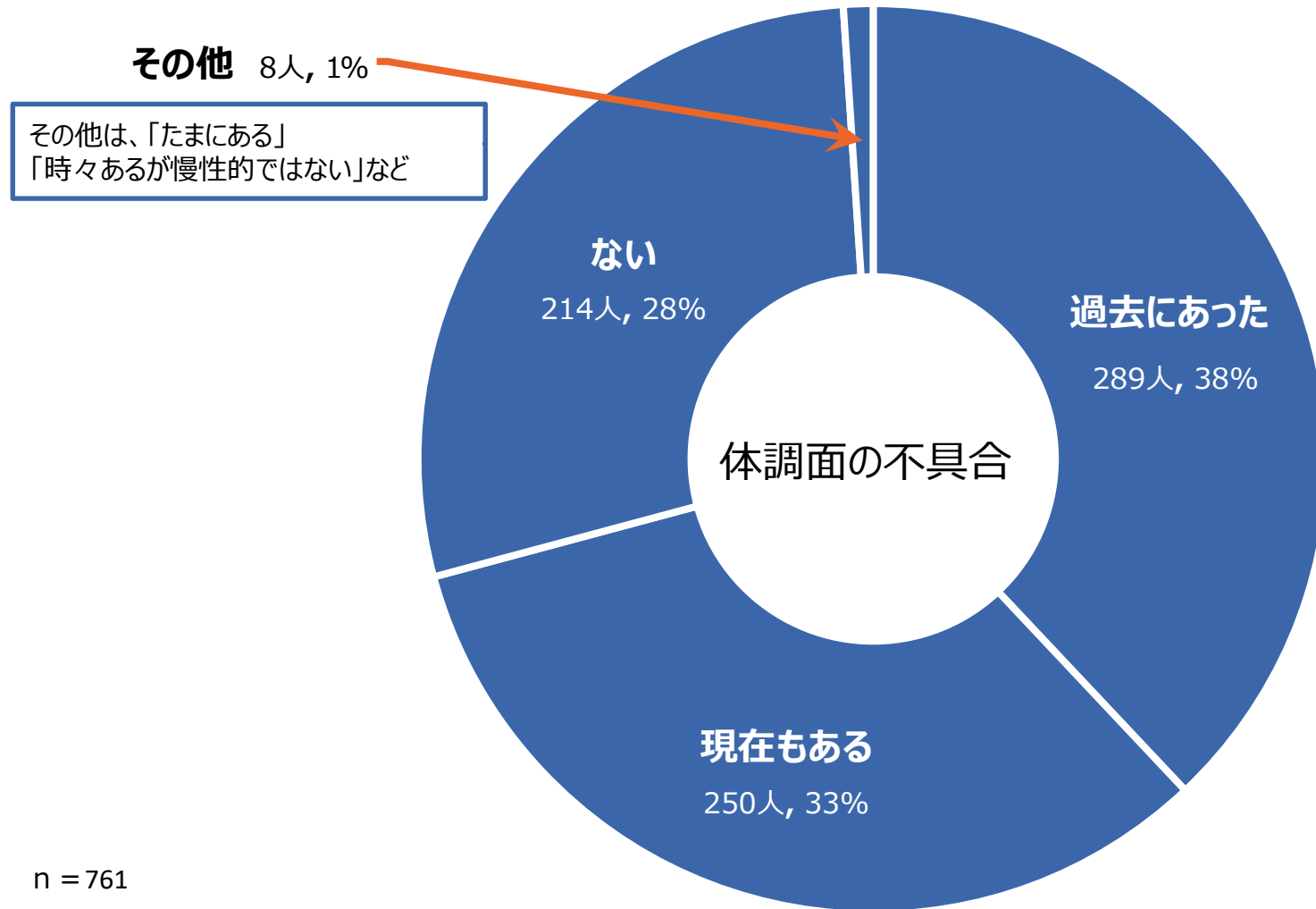
現在の職場に、出産や子育てを支援する制度（休暇や短時間勤務など）があるか尋ねたところ、
「制度があり、利用しやすい」との回答が523人(69%)であった。
一方、「制度はあるが、利用しにくい」という回答が142人(18%)、「制度はない」という回答が36人(5%)あった。



n = 761

10 体調面の不具合

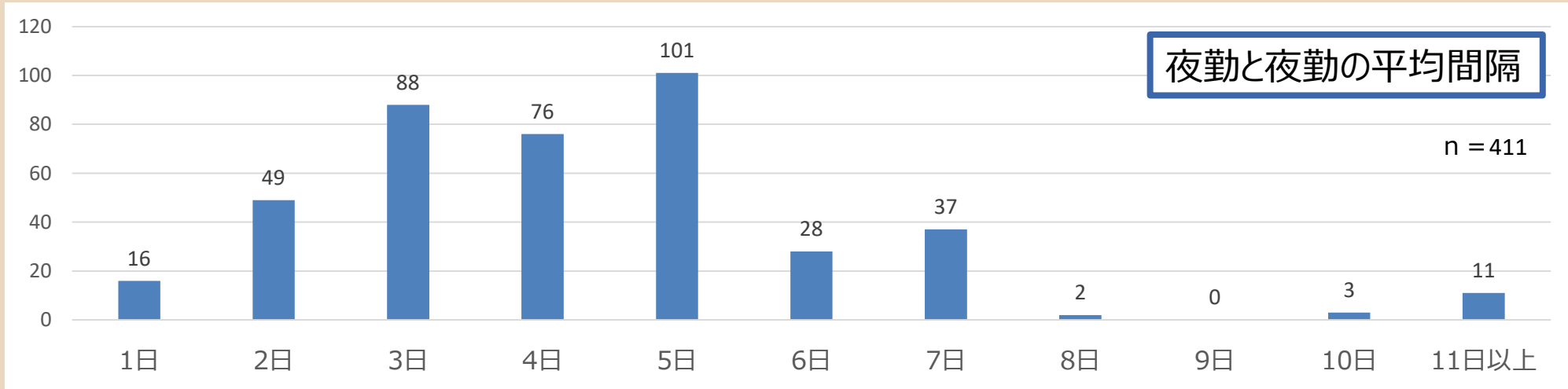
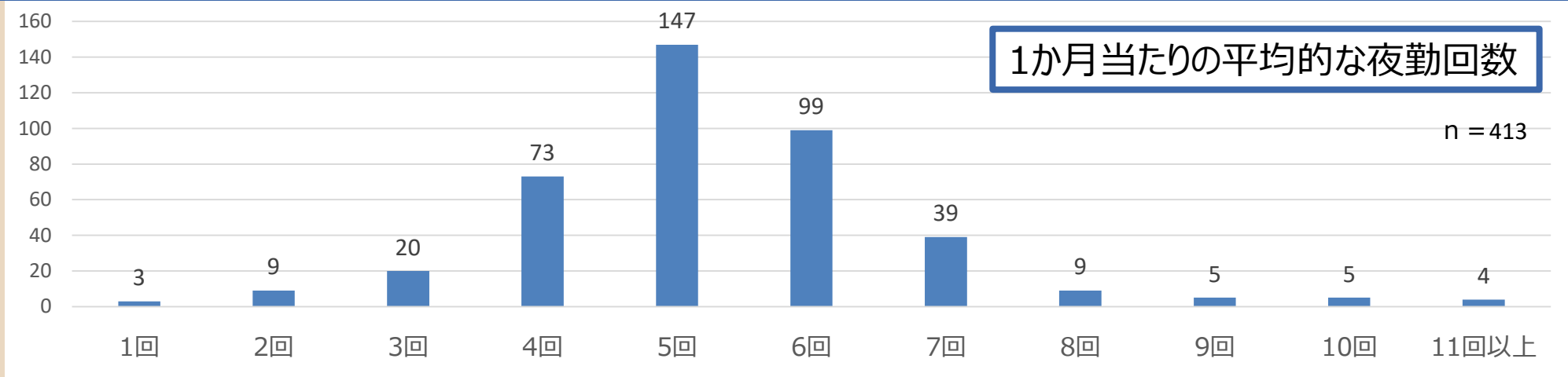
介護の仕事特有の体調面の不具合（腰痛や転倒によるけがなど）を尋ねたところ、「現在もある」「過去にあった」が合わせて539人(71%)と、多くの方がこれまでに何らかの不具合があったと回答した。



1 1 夜勤回数

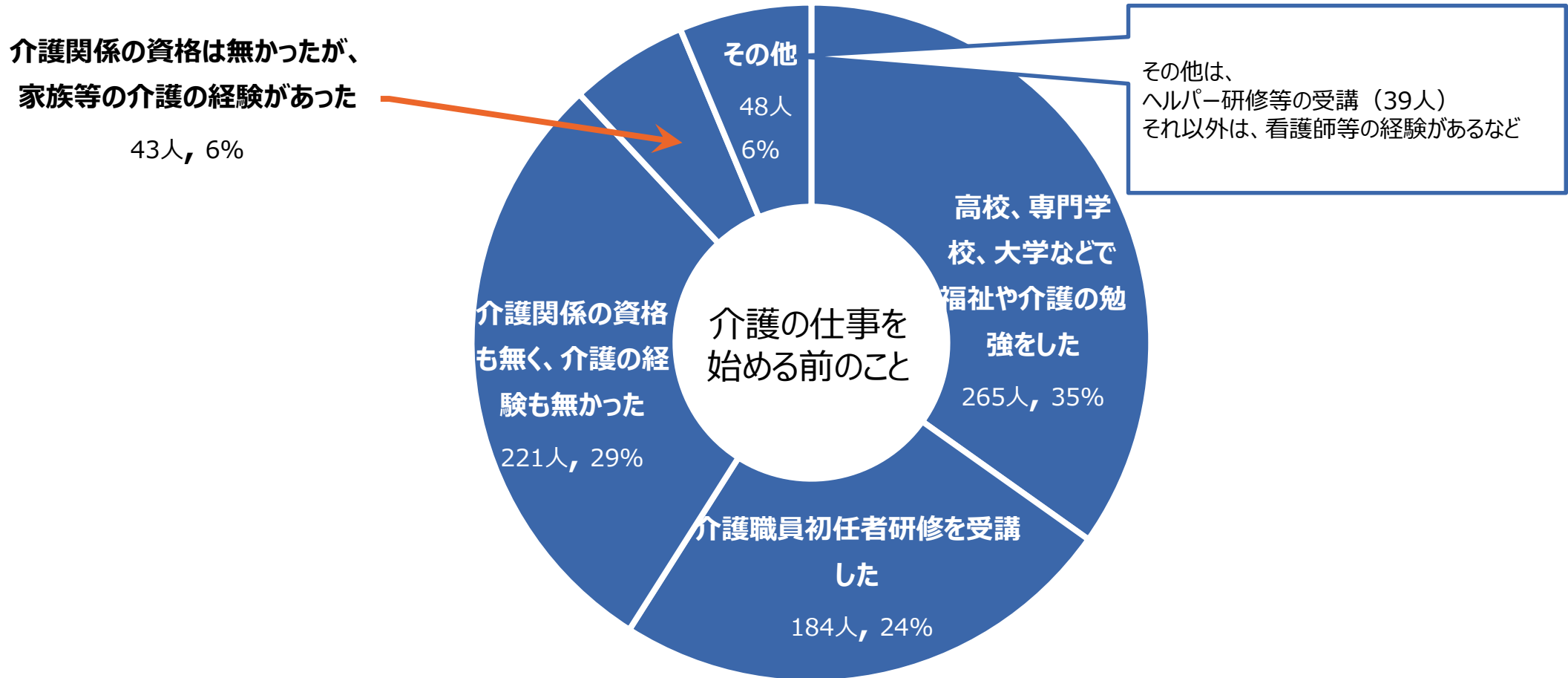
1 2 夜勤間隔

夜間勤務がある介護職員に1か月当たりの平均的な夜勤回数と、夜勤と夜勤の平均間隔を尋ねたところ、1か月当たりの平均的な夜勤回数は「4～6回」と答えた人が合わせて319人（77%）となり、夜勤と夜勤の平均間隔は「3～5日」と答えた人が合わせて265人（64%）となった。



1 3 介護の仕事をは始める前のこと

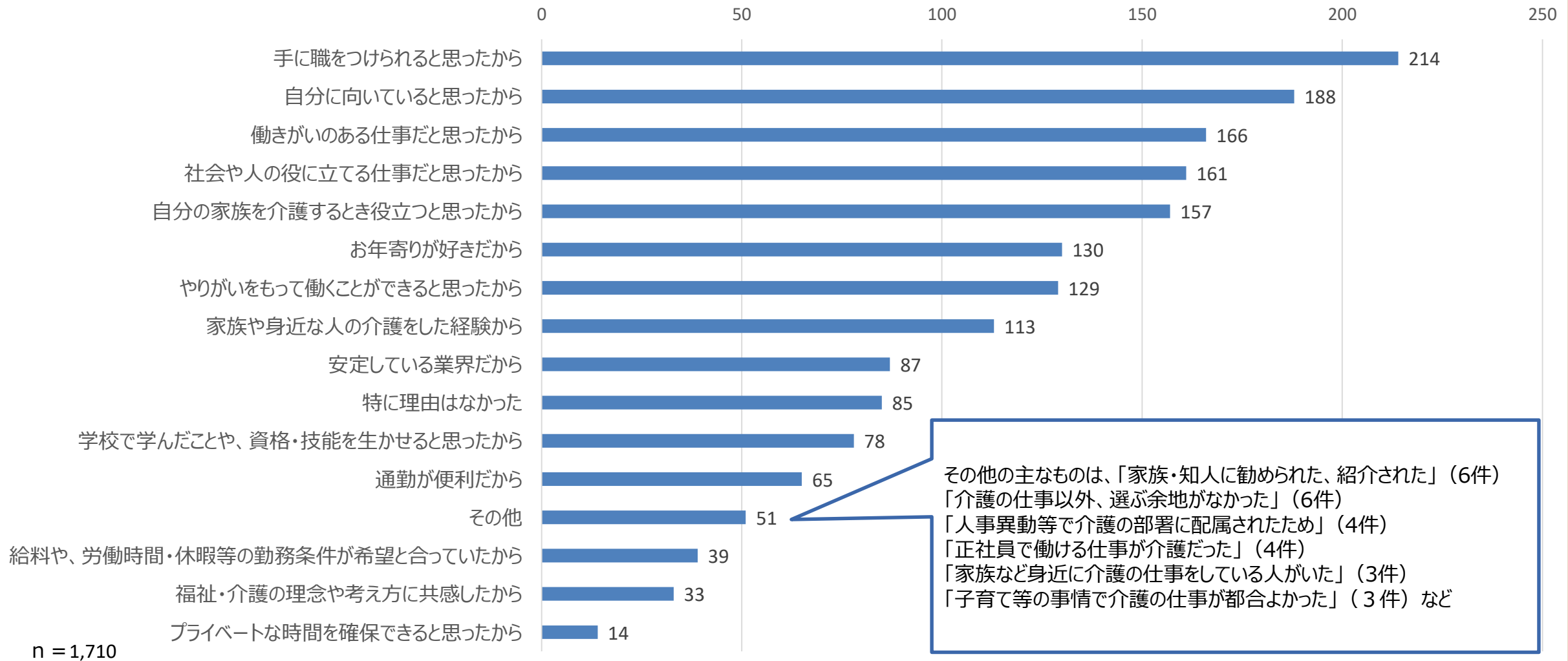
介護の仕事をは始める前のことについて、最も当てはまるものを選んでもらったところ、「高校、専門学校、大学などで福祉や介護の勉強をした」が265人(35%)と最も多く、「初任者研修を受講した」184人(24%)と合わせると、入職以前に介護の勉強をした人が過半数を占めた。一方で、無資格・無経験という回答も221人(29%)あった。



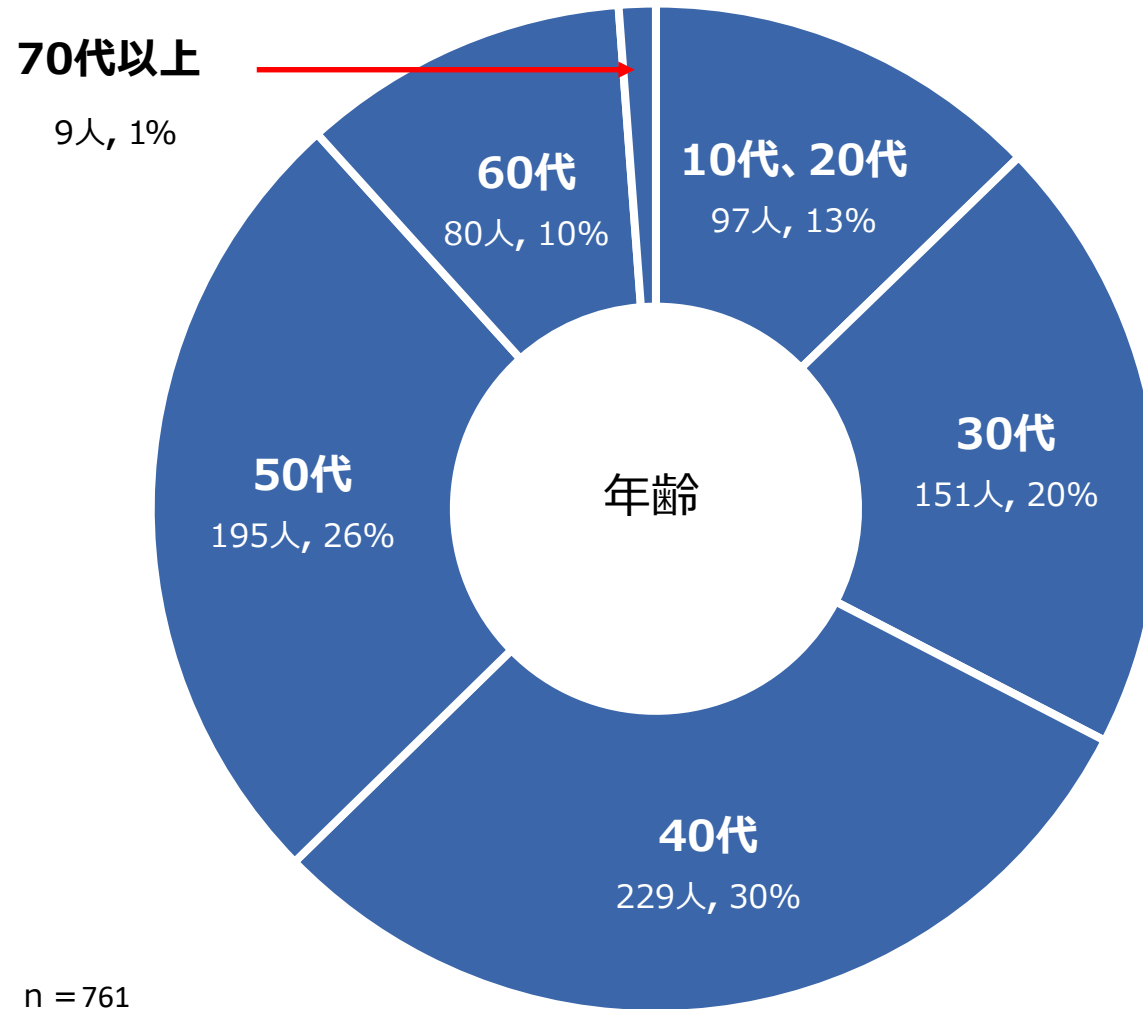
n = 761

14 介護の仕事をはじめた理由（重複回答あり）

介護の仕事をはじめた理由について、最も当てはまると思うものを最大3つまで選んでもらったところ、「手に職をつけられると思ったから」を選んだのが214件（13%）と最も多かった。

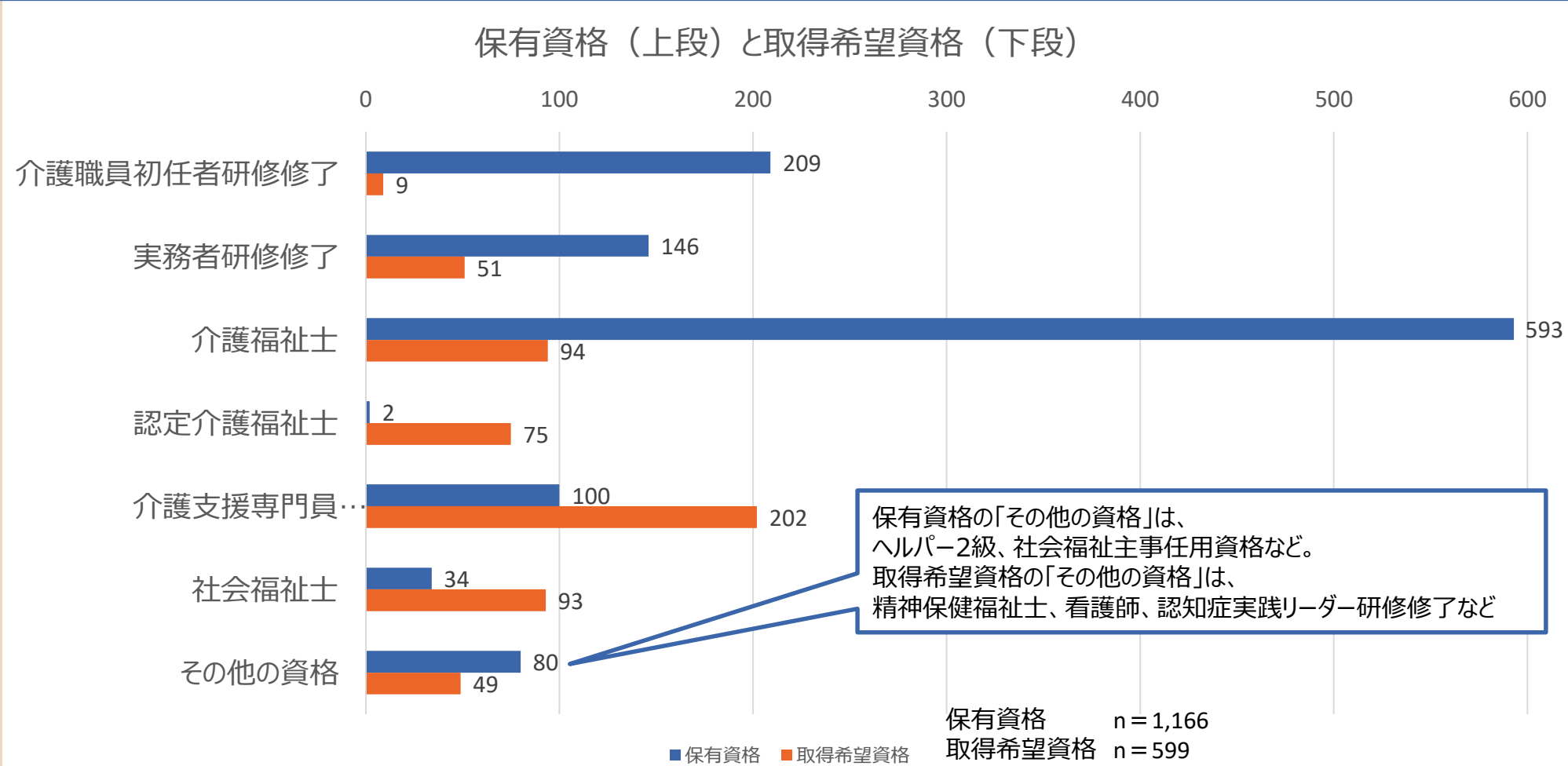


回答者の年齢は、多い順に40代が229人(30%)、50代が195人(26%)、30代が151人(20%)、10代及び20代が97人(13%)、60代以上が89人(12%)であった。



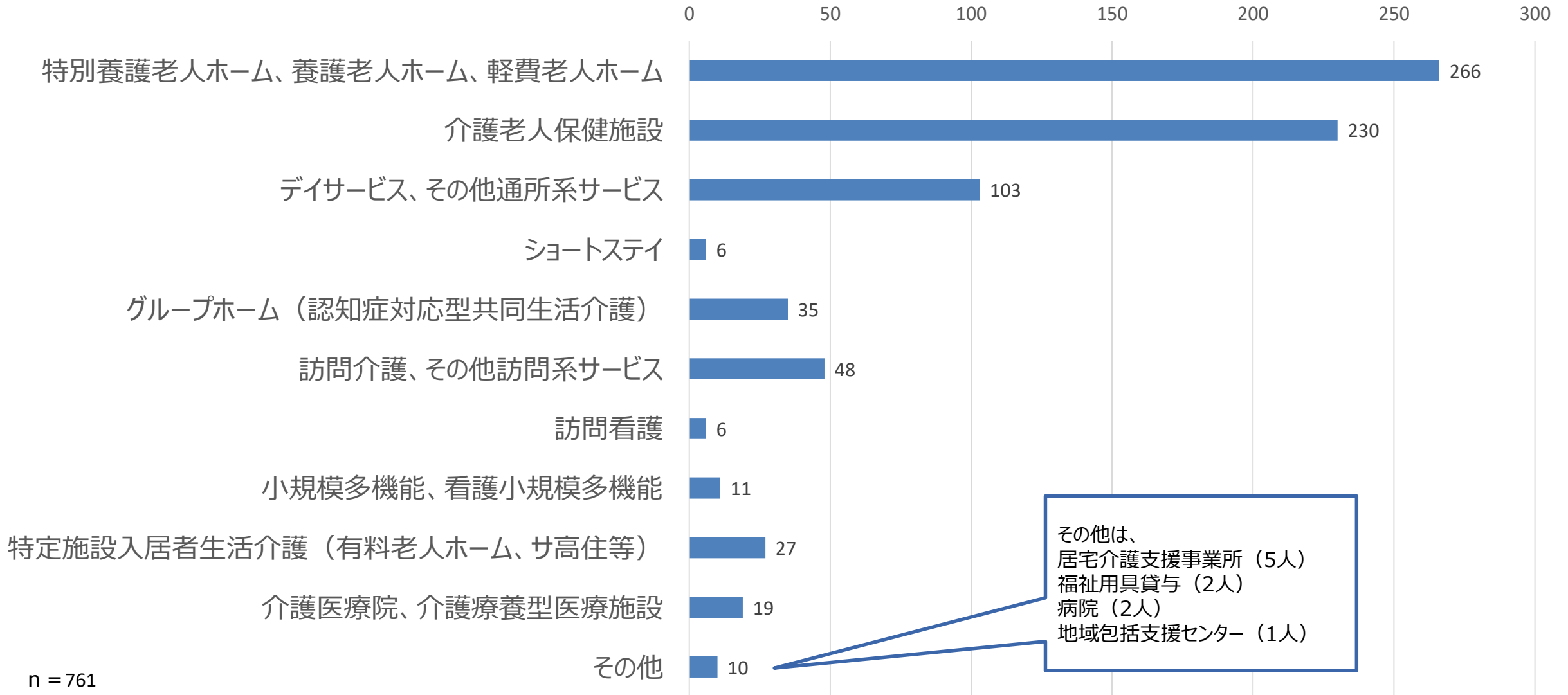
16 保有資格 17 取得希望資格（重複回答あり）

保有している資格と、将来取得したいと考えている資格について選んでもらったところ（複数ある場合は、全て選択）、保有している資格は「介護福祉士」が最も多く593人だった。
また、将来取得したいと考えている資格は「介護支援専門員(ケアマネジャー)」が最も多く202人であった。



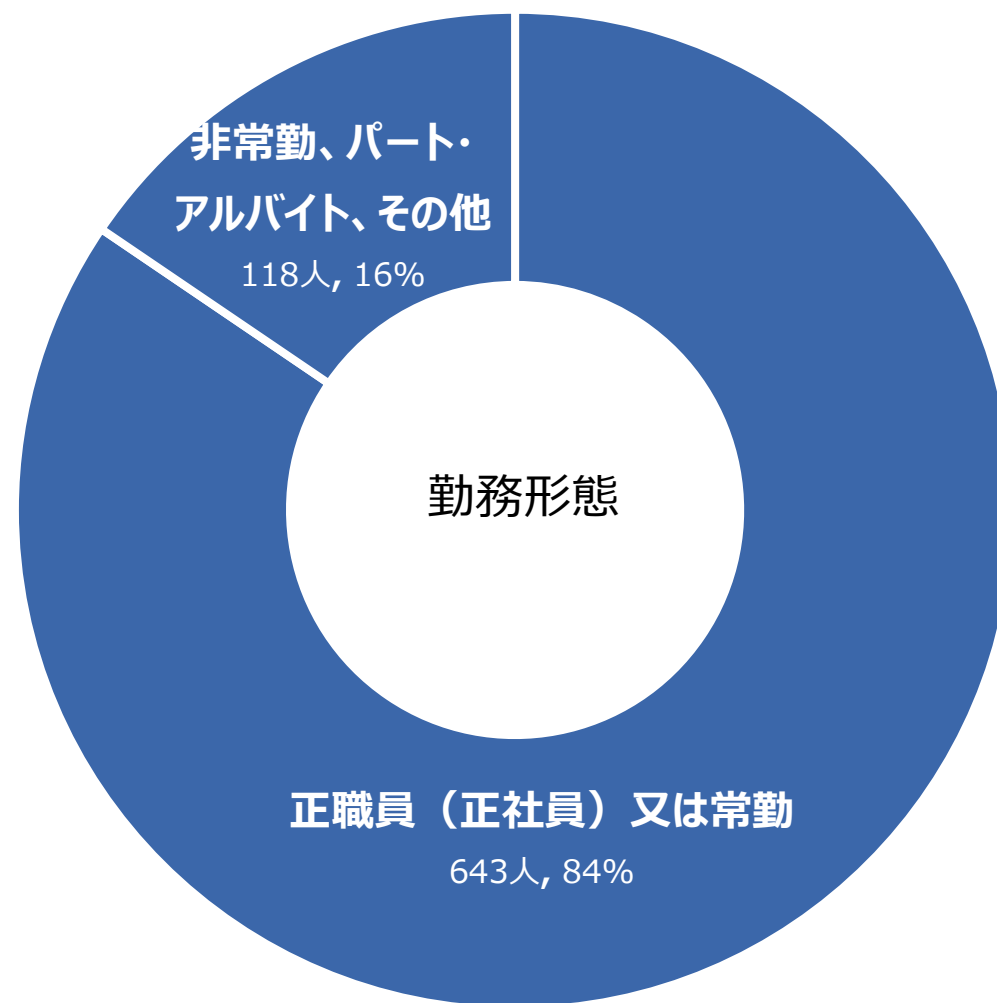
1 8 勤務先サービス種別

回答者の勤務先サービス種別は以下のとおりであった。



19 勤務形態

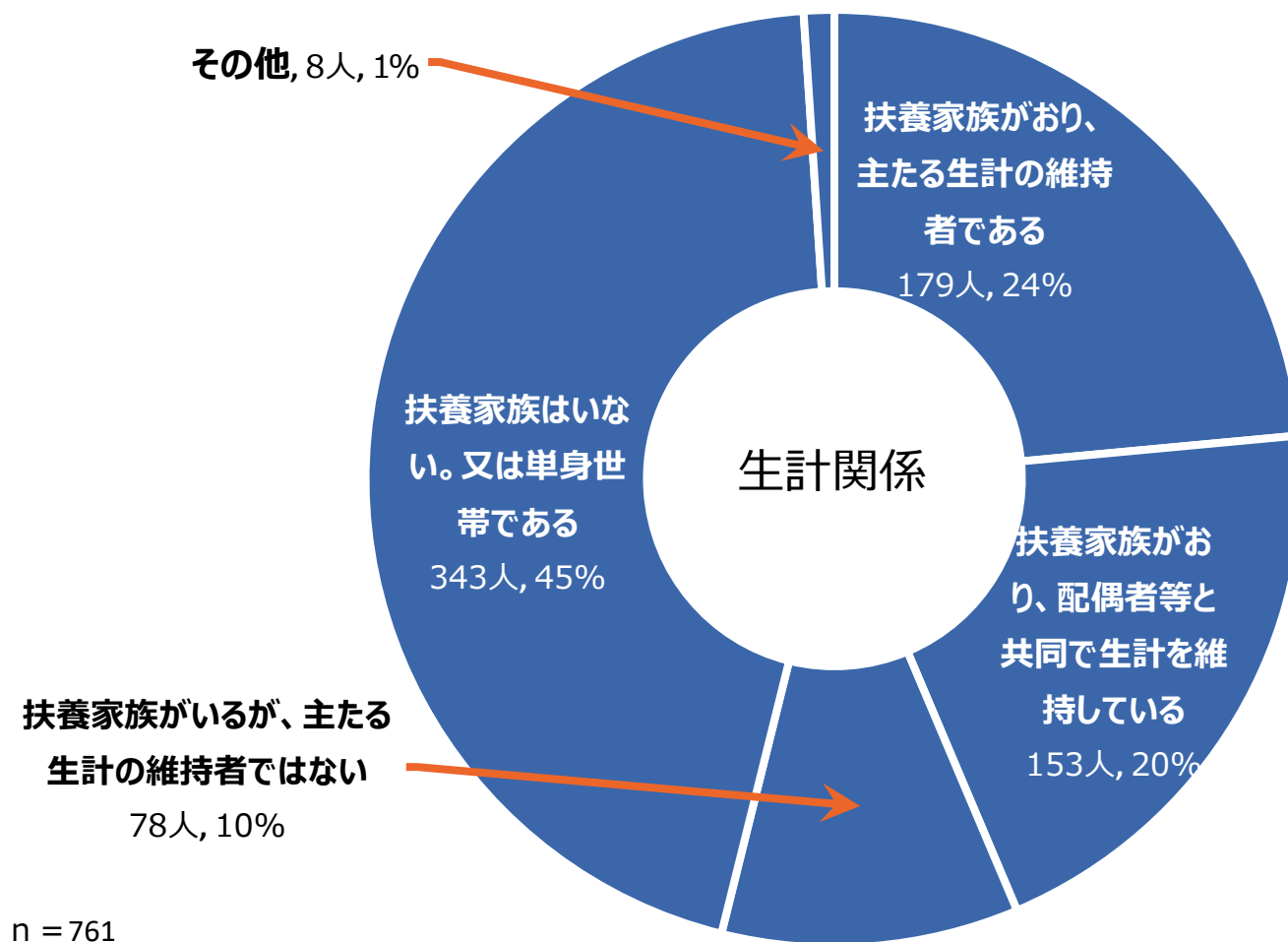
勤務形態について尋ねたところ、正職員(正社員)又は常勤が643人(84%)と多数を占めた。他の勤務形態は、パート、アルバイトが70人、非常勤が45人、派遣社員が1人、その他が2人だった。



n = 761

20 生計関係

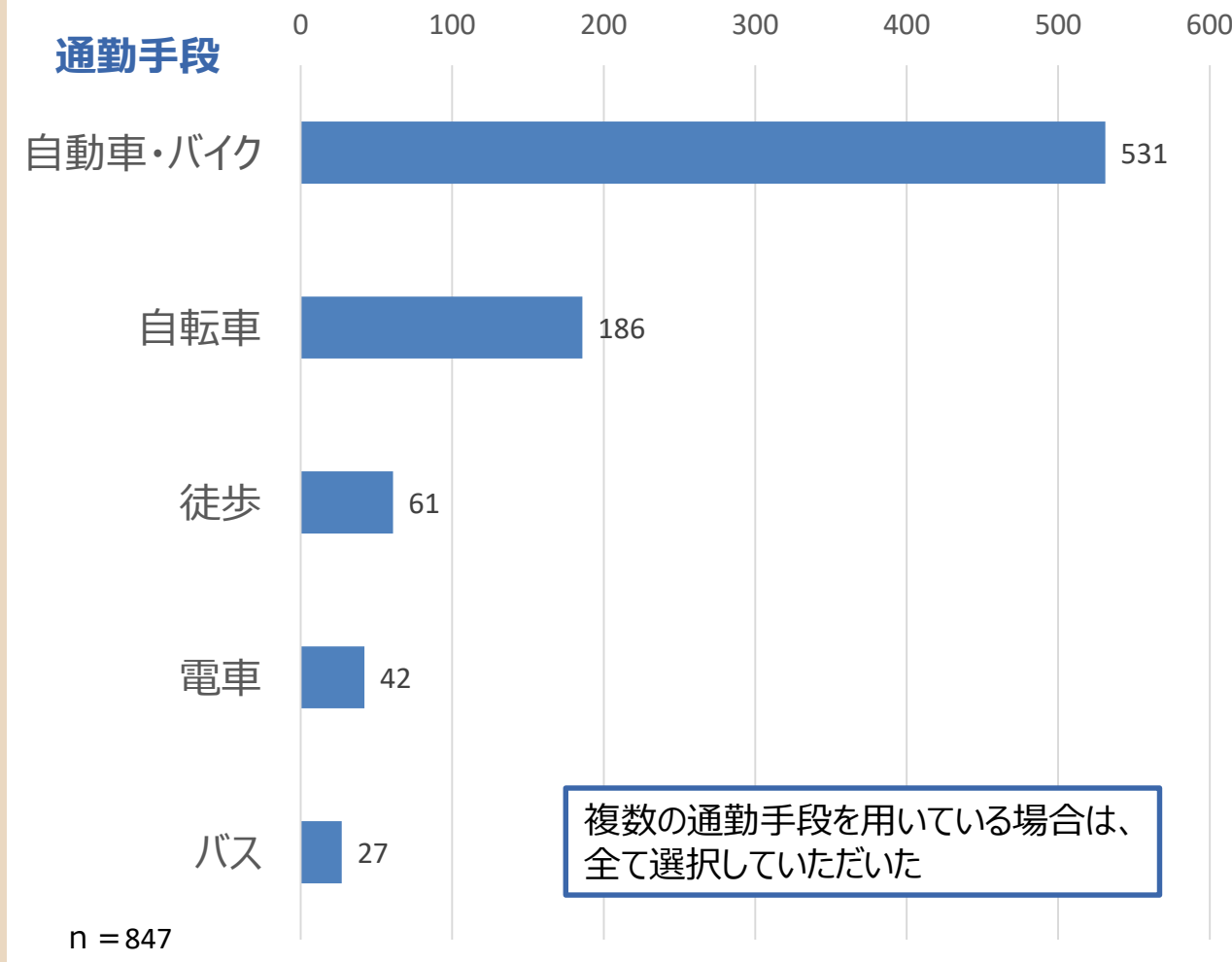
生計関係について尋ねたところ、扶養家族がいる人が410人(54%)であり、そのうち、単独又は配偶者等と共同で生計を維持しているのが332人(44%)、主たる生計の維持者ではないが78人(10%)だった。扶養家族がいない、又は単身世帯が343人(45%)であった。



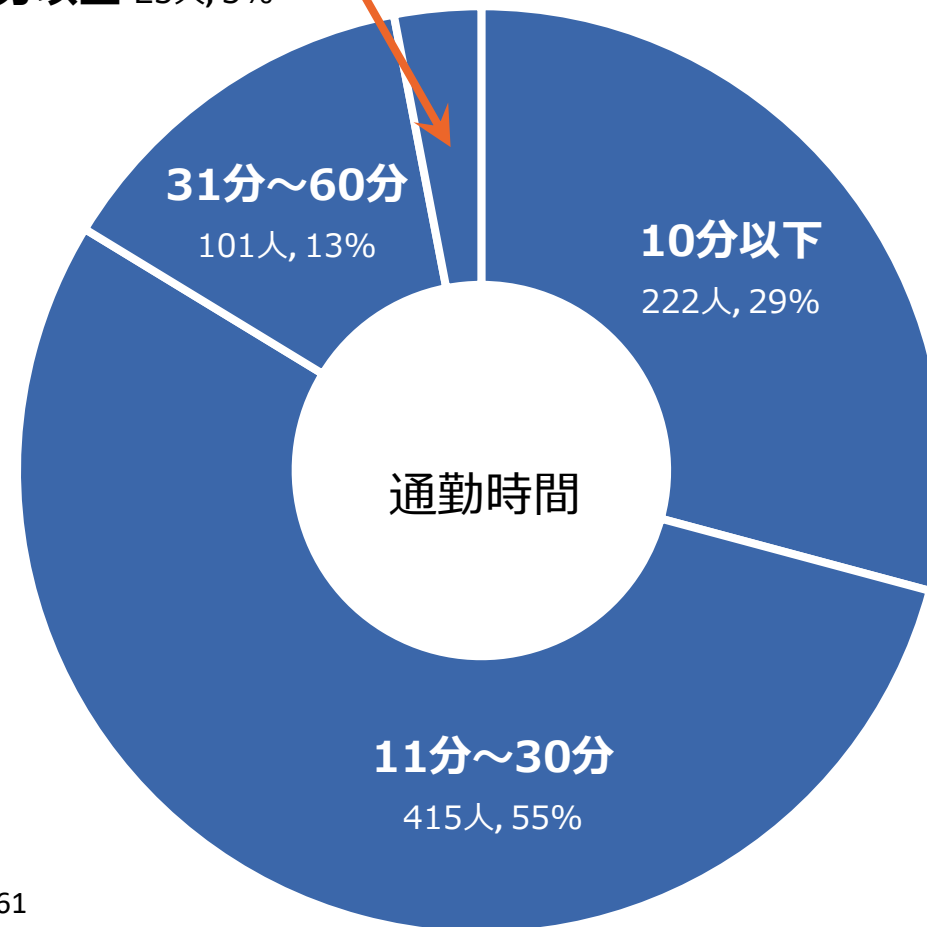
2 1 通勤方法（重複回答あり）

2 2 片道通勤時間

通勤について尋ねたところ、通勤方法は「自動車・バイク」が531人と最も多く、片道通勤時間は30分以内が637人（84%）と多数を占めた。

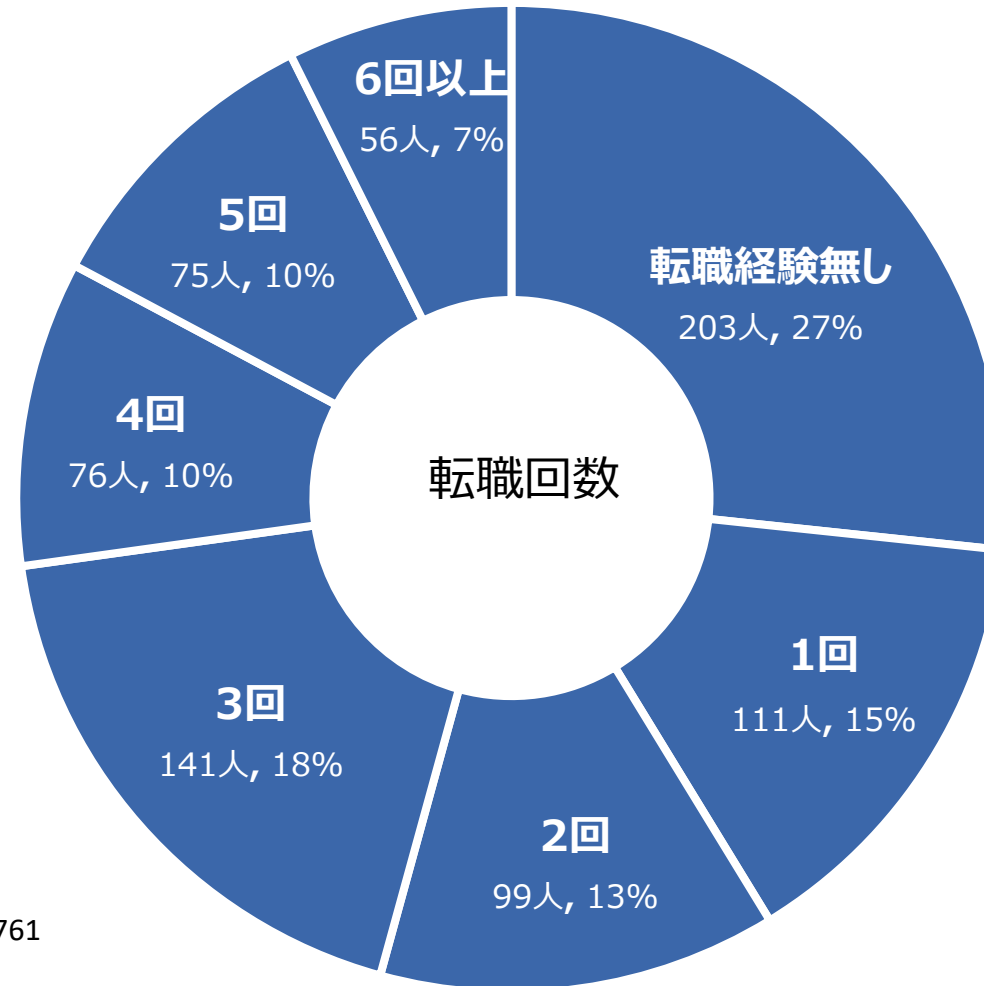


61分以上 23人, 3%



23 転職回数

転職回数について尋ねたところ、一度も転職経験の無い人が最も多く、203人(27%)だった。
一方、転職回数3回以上が348人(46%)だった。



n = 761